はちのへアートプラットフォーム「はちのへアート広場」 設立までの流れ

資料１

令和4年度	令和5年度～

プラットフォーム設立準備期間

ひろば交流会の開催

第1回	第2回	第3回	第4回
3月	5月	7月	10月

・文化芸術を盛り上げる機運の醸成
・設立に向けた機運の醸成
・活動団体の掘り起こし
・活動団体とのネットワークの構築

運営主体の構築

プラットフォーム設立

参　加　者・プレイヤー

・八戸市文化協会・文化芸術活動者（個人・団体）・教育関係者・福祉関係者・高等教育機関（大学）・地元企業・公立文化施設・関心がある方

プラットフォームのコンテンツ

ひろば交流会（セミナー型）

・文化政策全般
・情報発信
・障がい者活動
・中間支援機能（アートＮＰＯ、アーツカウンシル）
・企業メセナ

反映 ⇔

ひろばプロジェクト（実践型）

・子どもの鑑賞、学びの機会の充実
・活動への認知、参加拡大の取組
・障がい者との取組

財政的支援

プラットフォームを運営する事務サイド（案）

〇八戸市（案件・課題提供、運営費負担（講師謝礼等）、会場提供、庶務）
〇青森県又は文化関係の国等の機関（テーマに関する先進事例、講師等の紹介）
〇八戸市文化協会（会員への周知・参加、課題把握）
〇報道、金融機関等地元企業（企業メセナ又は地域振興（貢献））